かぬまフラッシュ
KANUMA FLASH

鹿沼城に思いをはせて…
―鹿沼城発掘調査現地報告会―

6月7日、市役所で、かつて御殿山にあったとされる「鹿沼城」の発掘調査現地報告会が開催され、実際の発掘現場を前に、文化課職員が参加者に向けて解説を行いました。

新庁舎建設工事に伴い、4～6月にかけて行われた今回の発掘調査。鹿沼城の周囲にめぐらされた曲輪（囲い）や堀跡のほか、漆塗りのおわんなどの出土品が発掘されました。中でも、底を畝状に掘った「障子堀」と呼ばれる堀は、県内で初めて確認されたもの。障子堀は北条氏の城によく見られる特徴で、鹿沼城の城主・壬生氏と北条氏との間に何らかの関係があったことがうかがえます。

新たな観光名所の整備進行中
―上南摩町の温泉掘削工事完了―

市では、令和6年度の完成を目指す「南摩ダム」周辺の観光拠点の整備を行っており、その一環として、地元からの要望が多かった温泉施設の掘削工事を行いました。

工事は昨年度から開始され、4月に地下1,500mまで掘削が完了。水をくみ上げて分析したところ、温度・成分ともに温泉の基準を満たすことが確認されました。泉質は「ナトリウム－炭酸水素塩泉」で、肌をなめらかにする効果があることから「美肌の湯」とも呼ばれます。

施設完成に向けての第一歩となった温泉の掘削。今回の工事を皮切りに、今後も観光拠点の整備が進められます。

新登場!ひんやりスイーツ
―いちご・板荷茶ジェラート発表会―

6月12日、まちの駅　新・鹿沼宿で、同所に店を構える小林酒店のアンテナショップ「キッチン七」が、新作商品となるジェラートの発表会を行いました。

同店は、鹿沼農林商工連携・6次産業化推進協議会との提携により、鹿沼の特産品を使ったジェラート「女峰のソルベ」・「いちごのミルフィーユ」・「板荷茶ミルク」を開発。発表会には、商品開発に協力した㈱佐野観光農園のジェラート職人・中村さんも参加し、出席者にジェラートを振る舞いながら、商品の魅力を語りました。

あじさいの名所は今年も鮮やか
―磯山神社のあじさい―

6月下旬、磯山神社（磯町）のあじさいが見頃を迎えました。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、「あじさい祭り」は中止となり、夜間の提灯点灯の実施はありませんでしたが、昨年より花付きは良好で、青や紫、ピンク、白など、28種約2,500株のあじさいが参道など境内（けいだい）周辺を彩りました。

また、社殿前には、くぐると疫病を免れるとされる茅（ち）の輪（わ）が設置され、訪れた人たちは大きな輪をくぐり、無病息災を祈っていました。

高原を元気いっぱい駆け回る
―前日光牧場で牛の放牧―
（前日光牧場管理組合）

6月16日・18日、恒例の前日光牧場（横根高原）での牛の放牧が行われました。

涼しい環境下で夏バテを防止するほか、広い牧場内での飼育により、牛の運動量を増やすことを目的としたもので、今年は、和牛27頭、乳牛23頭の計50頭を放牧。一頭ずつ体重・体高・胸囲の測定などの検査を受けた後、牧場に放されました。爽やかな風が吹く高原へと駆け出した牛たちは、元気よく跳び回り、広々とした環境を満喫していました。なお、放牧は10月末まで実施される予定です。

学生の力を地域防災へ
―鹿沼市学生消防団活動認証制度で初認証―

6月17日、市役所で、「鹿沼市消防団活動認証制度」の認証状交付式が行われ、小野口健（たける）さんが制度初となる認証を受けました。

この制度は、市消防団に在団する大学生、大学院生、短大生、専門学生を対象に、真摯かつ継続的に活動に取り組んだ団員を市が認証するもので、認証証明書により就職活動を支援することを目的としています。小野口さんは昨年6月から入団しており、令和元年東日本台風では水防活動に従事するなど、消防団活動に精力的に取り組んできたことが認証につながりました。